

8.14 公共交通へのアクセシビリティ

8.14.1 調査事項

調査事項は、表 8.14-1 に示すとおりである。

表 8.14-1 調査事項

区 分	調査事項
調査した事項	・ 工事用車両の走行に伴う公共交通へのアクセシビリティの変化の程度
調査条件の状況	・ 工事用車両の走行の状況 ・ アクセス経路における歩車道線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・ 計画地周囲の歩道等を占有する工事を行う場合には、交通整理員の配置等を計画とする。 ・ 工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する計画とする。

8.14.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.14.3 調査手法

調査手法は、表 8.14-2 に示すとおりである。

表 8.14-2 調査手法

	調査事項	工事用車両の走行に伴う公共交通へのアクセシビリティの変化の程度
	調査時点	工事の施工中（平成26年2月～平成29年3月）とした。
調査期間	調査した事項	工事の施工中（平成26年2月～平成29年3月）の適宜とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	調査した事項	計画地及びその周辺とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	調査した事項	関連資料の整理による方法とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

8.14.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 調査した事項及び調査条件の状況

ア. 工事用車両の走行に伴う公共交通へのアクセシビリティの変化の程度

計画地は東京スタジアム及び西競技場に隣接しており、これらの施設へのアクセス経路としては京王線飛田給駅から主要市道32号(スタジアム通り)及び一般国道20号(甲州街道)を経てアクセスする経路がある。

工事用車両の走行ルートは図4.2-8(p.21参照)に示すとおりである。工事用車両の状況は、「8.1 大気等 8.1.4 調査結果 (1)調査結果の内容 2)調査条件の状況 ウ. 工事用車両の状況」(p.46参照)に示したとおりであり、大型車290台/日、小型車104台/日、合計394台/日であった。

工事用車両の走行ルートは東京スタジアム及び西競技場への経路と重なっていたがマウントアップ及び植樹帯により歩道と車道が分離されていた。また、一般国道20号(甲州街道)は歩道橋を利用して横断する構造となっていた。

以上のことから、工事用車両の走行により公共交通へのアクセシビリティに与える影響は低減されていた。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表8.14-3に示すとおりである。

表 8.14-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・計画地周囲の歩道等を占有する工事を行う場合には、交通整理員の配置等を計画とする。	一般国道20号(甲州街道)及び主要市道32号(スタジアム通り)の歩道を占有する工事の際には、バリケードの設置や交通整理員を配置し、歩行者の妨げにならないよう配慮した(写真8.14-1)。
・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する計画とする。	工事用車両が出入するゲートには、交通整理員を配置した(写真8.14-2)。



写真 8.14-1 バリケード設置の状況



写真 8.14-2 車両出入口の交通整理員